

進学・就職活動シーズン、本格化。
社会について学ぶ2冊をご紹介！

『会話術』

松本幸夫／著 秀和システム／出版
2007年1月／刊

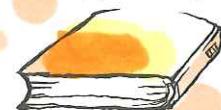
コミュニケーション力、アップ！

何気ない普段の会話で、自分の気持ちをうまく伝えることができず、時には、取り返しのつかない一言を口にしてしまったこと、ありませんか？会話が引き起こす失敗・成功は、ビジネスマンにとって死活問題です。ビジネスシーンにおける、相手に共感や説得力を与える話し方、上手な主張法、声のメリハリや間による効果など、ちょっとしたことで印象が変わる会話術を紹介した一冊です。人間関係、進学・就職活動にも活かせる考え方が満載ですよ。

『人生を良くする40の就活・メソッド 就職の流儀』

越智通勝／著 幻冬舎／出版
2007年9月／刊

社会にとびこむ“覚悟”を学ぼう。
誰しも、就職し社会に出る時が訪れます。就職氷河期といわれる現代、将来を悩み苦しんでいる人は決して少なくないでしょう。本書は、社会に出る前に、また社会に出た後に、あなたが物事をどのように捉えて行動をすべきか、ヒントを与えてくれる一冊です。これから、どんな困難なことに出会ったとしても、自らの姿勢、考え方ひとつで切り開けることを教えてくれます。



『「エネルギー・シフト」に向けて
節電・省エネの知恵123』
箕輪弥生／著 飛鳥新社／発行
2011年1月／刊

寒い冬を、エコに乗り切ろう！

本格的な冬が始まります。できるだけ節電をしようという動きが続いているが、暖房が必要な冬に、何をどうしたら節電できるのか？いまいち思いつかない人も多いのではないかでしょうか。省エネ設備の紹介や、季節に合わせてできる身近な節電、ちょっと素敵なお手本の考え方などを、123項目掲載しています。東日本大震災から見えてきた原子力発電のこと、エネルギー・シフト問題などもとりあげています。

590
Mi, 47

336.4
Ma, 81

『宮澤賢治
雨ニモマケズという祈り』

重松清、澤口たまみ、小松健一／著
新潮社／発行 2011年1月／刊

賢治の“心”を知る旅へ…。

賢治が何を思い、作品がどういう背景をもって生まれたのか？作家、重松清氏・澤口たまみ氏、写真家、小松健一氏が賢治縁の地を辿り、迫ります。彼の遺した作品はあまり多く有名ですが、知っているようで知らないことが多い“宮澤賢治”という人間。その人生に触ることで、あなたのお気に入りの賢治作品が、より味わい深いものになることでしょう。

910.26
Mi, 89



『ジュージュー』

よしもとばなな／著
文藝春秋／発行
2011年1月／刊

F
Y, 91

不器用な人々の、再生の物語。

ステーキとハンバーグの店「ジュージュー」。主人公の美津子は、死んでしまった母の思い出に溢れる店を、毎日切り盛りしています。美津子の恋をきっかけに「ジュージュー」をとりまく人々との繊細な関係が変わっていく様を、穏やかに描きます。甘くて切なく、キュートな日常と、下町の暖かな風景がじんわり心にしみこみます。



『秘蔵！長崎くんち絵巻
大阪府立中之島図書館所蔵絵巻
崎陽諱訪明神祭祀図』

長崎文献社／発行 2006年10月／刊

長崎くんちの豪華絢爛さを凝縮！
絵巻三巻にわたって、長崎県・諱訪神社の祭礼に興じる人々の様子を描いた「崎陽諱訪明神祭祀図」。人々の目に触れる機会の少なかった資料の豪華解説本です。ページを捲り、長いくんち行列を辿っていけば、異国文化の華やかな賑わいと当時の町の様子、人々の祭に対する崇敬の念が伝わってきます。

721.2
H, 79

『奔る合戦屋』

北沢秋／著 双葉社／発行
2011年1月／刊

F
KI, 75

孤高の合戦屋誕生の過去とは。

前作「轟う合戦屋」の時代より16年前の物語。天文年間、武田をはじめとする諸勢力が割拠する信濃が舞台の戦国小説です。天性の戦術の才をもつ石堂一徹は豪将・村上義清に仕え、戦いを重ねるごとに合戦屋としての才能を發揮していきます。台頭する家臣を召抱えることに次第に苦悩していく義清。主従の心のすれ違いが引きがねとなり、ついには最悪の事態が訪れます。戦乱の世に生きる一徹の、切ない過去が語られます。



■お問い合わせ

佐賀県立図書館 企画課
図書館ネットワーク担当

まで！

■次号は12月発行予定です。

